

2-3.

データを文書にまとめる

データについて文書で記録する意味

1. 自分自身の覚えのために

研究を実施している間はデータセットの細かな点まで記憶しているが、時間の経過に従い記憶が薄れていく。

2. 他の研究者の再利用のため

研究者が既存のデータを再利用する理由はたくさんある。

例えば、先行研究の結果を理解する、検証する、レビューする、結果を再現する、同様の研究をデザインする等。

メモ

データ文書の作成レベル

プロジェクトレベルの文書

データがどのように収集、処理されたのかを示す技術的なレポート。例えば、研究目的や研究成果、研究課題や仮説、研究の方法論、データ標本の抽出、機器や測定器の説明等。

ファイルやデータベースレベルの文書

データセットを構成している全てのファイルの関連性。readmeファイルはフォルダ、ファイルについて解説する伝統的な方法。

変数またはアイテムレベルの文書

分析の結果について正確に示す。例えば、表データの変数名だけではなく、変数の操作方法の意図も示す。

メモ

データに関する文書の例

実験ノートと実験プロトコル

アンケート表、コードブック、データ辞書

ソフトウェアの文法、アウトプットファイル

設備設定、機器校正の情報

データベーススキーマ

方法論レポート

電子化または派生データのソースの起源情報

メモ

文書の事例：実験ノート

実験ノートはデータ管理における極めて重要な要素。
実験の手続きを正確に記録することは、

1. 優れた基準に準拠していること、学術的かつ倫理的であること、研究助成団体の契約条項に遵守していることを示す。
2. 研究者が作りあげた知的財産に関する主張を保証し、研究不正に関する訴えから守る。

研究室のデータの徹底的かつ効果的な管理と実験手続きの定期的な文書の作成は、研究者にとってかなり重要な任務となる。

メモ